

# 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 【第二次交付限度額 1,735,624千円】

第1弾【専決】  
交付金74,500千円

第2弾【第1回臨時会】  
交付金287,108千円

第3弾【第2回定例会】  
交付金179,836千円

第4弾【第2回臨時会】46事業  
1,182,724千円(交付金1,136,655千円)

第5弾【第3回定例会】以降  
約6億円を予定

## I 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発 30事業 394,204千円(交付金348,135千円)

(1) 公共施設感染拡大防止対策 18事業 **13,422千円**

- 公共施設に検温アラームシステム・サーマルカメラ等を導入 12,102千円  
市民会館 公会堂 市民センター 銭函市民センター いなきたコミュニティセンター 葬斎場 勤労青少年ホーム  
勤労女性センター 総合福祉センター 身体障害者福祉センター 観光物産プラザ 自然の村 図書館  
総合博物館 美術館 生涯学習プラザ 総合体育館
- 本庁舎等に飛沫感染防止(アクリル板)対策を実施 1,320千円

(2) 保健所関係経費 5事業 **80,653千円(交付金66,584千円)**

検査体制を強化するため機器等を拡充(PCR検査20件→40件/日、抗原定量検査60件/日)するほか、医療物資の備蓄、集団健診の個別健診化などを実施

(3) 病院会計への繰出 1事業 **223,437千円**

更なる診療設備や感染防止対策に係る整備を行うとともに、医療環境の改善や新たな生活様式に対応するためのオンライン環境等を整備

(4) 感染症対策・学習保障関係経費 4事業 **64,000千円(交付金32,000千円)**

各学校での感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするために、学校教育活動の全体を通じて取組を支援

(5) その他 2事業 **12,692千円**

- 避難所の衛生環境整備のための資材を購入 5,600千円
- 新型コロナウイルス感染症に対応する保健師・消防隊員等への手当 7,092千円

## II 雇用の維持と事業の継続 10事業 483,020千円

(1) 事業継続支援 6事業 **305,820千円**

- 売上が30%以上減少している、これまで支援が行き届いていない製造業等の事業者に対して支援
  - バス・タクシー事業者(基本10,20万円に台数により加算) 26,000千円
  - 製造業等の事業者(従業員30人未満10万円、30人以上20万円) 112,000千円
- 宿泊事業者へ昨年度の上下水道料金相当額(上限1,000万円)を支援 120,000千円
- 感染対策に留意しつつ今後も安定的な事業所運営を行っていただくため、介護・障害・子育ての合計456事業所に、支援金(5,10,20万円)を給付 47,820千円

(2) 離職者支援 2事業 **30,800千円**

- コロナ禍により離職を余儀なくされ、再就職に至っていない方への給付金(5万円)を給付。4/28以降に出生した子がいる場合5万円加算 15,800千円
- 地元企業へ安定就職する機会の創出(24人) 15,000千円

(3) クラスタ発生に伴う緊急対応 2事業 **146,400千円**

- 昼間にカラオケを提供する飲食店舗への休業等協力金(20万円) 6,020千円
- クラスタによる影響を受けた飲食店への支援(20万円) 140,380千円

## III 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復 6事業 305,500千円

(1) 新たな取組に対する支援等 4事業 **275,500千円**

- 百貨店催事場以外での小樽フェア開催を支援し、新規販路を開拓 22,500千円
- 通販サイトの再構築とバーチャル物産展の開催支援 16,000千円
- 新たな取組に挑戦する、がんばる市内企業を支援 177,000千円  
(感染対策20万円(改装を伴う場合は50万円)、販路拡大等100万円)
- 宿泊事業者へ誘客を図る商品造成等に係る経費(最大300万円)を助成 60,000千円

(2) 観光資源の整備・情報発信 2事業 **30,000千円**

- 3密とならない観光資源の充実のため、天狗山などの自然、眺望施設を整備 20,000千円
- 小樽文化遺産の情報発信、市内散策コースの造成などを実施 10,000千円

## IV 強靱な経済構造の構築

該当なし

※標記臨時交付金事業のほか、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業を予定(162,285千円)

※第3回定例会では、臨時交付金活用事業として、保育士等への慰労金支給事業やGIGAスクール関係事業などを予定